

Smile



小北中学校
第3学年 学年だより
令和4年5月2日発行
第2号

最高の思い出に

3年生になり早1ヶ月が経とうとしています。4月は修学旅行に向けて走り抜けてきました。修学旅行実行委員も始業式の日からほぼ毎日放課後に、クラスみんなが考えたキーワードをもとに平和の誓いを考えたり、ルールやマナーをまとめたり、しおりの原稿を書いたり、修学旅行を成功させるべく準備に取り組みました。そして迎えた4月20日からの修学旅行、天候の関係で行程の変更はありましたが、大きなトラブルもなく、無事に終えることができました。

富屋食堂や知覧特攻平和会館では、研修ノートを手には講話に真剣に耳を傾け、展示物に見入っている姿が見られました。戦争で送り出す立場、出撃する立場、残された立場、様々な立場の人々の思いを学び、いかに平和が大切であるかということに改めて実感したようでした。感想で、初めて（遺書の）字を見て涙を流したと書いている生徒もいました。かごしま水族館では、ダイナミックなイルカショーを間近で観てとても喜んでいました。維新ふるさと館では、幕末から明治維新にかけての薩摩のようすや活躍した人々についてのシアター、ジオラマを観たり、さまざまな体験をしたりして鹿児島県の歴史について学びました。吉野公園では、展望台に上がった瞬間、眼前に広がる雄大な桜島の姿に歓声が上がりました。

2泊3日の修学旅行では、有意義な経験を通してたくさんを感じ、学び、それぞれがよい思い出をつくることができました。実行委員の頑張りはもちろんですが、この旅行をよいものにしようとする一人ひとりが意識し、行動にうつせたからこそ、より実りのある3日間になったのだと思います。修学旅行のスローガン『協心戮力 ～ keep telling to the world what we have learned ～』にあるように、自分たちが得たものをこれから発信し続けていってほしいと思います。

最後の1年をどう過ごすか

向上！！

～小北中の柱として～

～進路実現に向けて～

- 小北中学校の柱として
 - ・ 周りを見て判断し、行動する（指示待ちではなく、率先して）
 - ・ 学校全体を支える（ときに先導し、ときに縁の下のカもちに）
- 進路実現に向けて
 - ・ 自分と向き合い、将来の方向性を定める
 - ・ 自分に必要な知識や力が何か考え、身につける努力をする

今年の学年目標を上記のように決めました。最高学年として小北中学校全体を支え、後輩たちを引っ張ってほしいと思います。そのためにも、判断力、実行力を今まで以上に高めていきましょう。また、今年度は次のステップへと進むための準備をしなければなりません。将来のことを自分事として捉えられているでしょうか。時間は限られています。この先の自分のために必要なことは何か考え、優先順位を決めて取り掛かるようにしましょう。そして、笑顔（smile）で門出を迎えられるように、自分を向上させていきましょう。